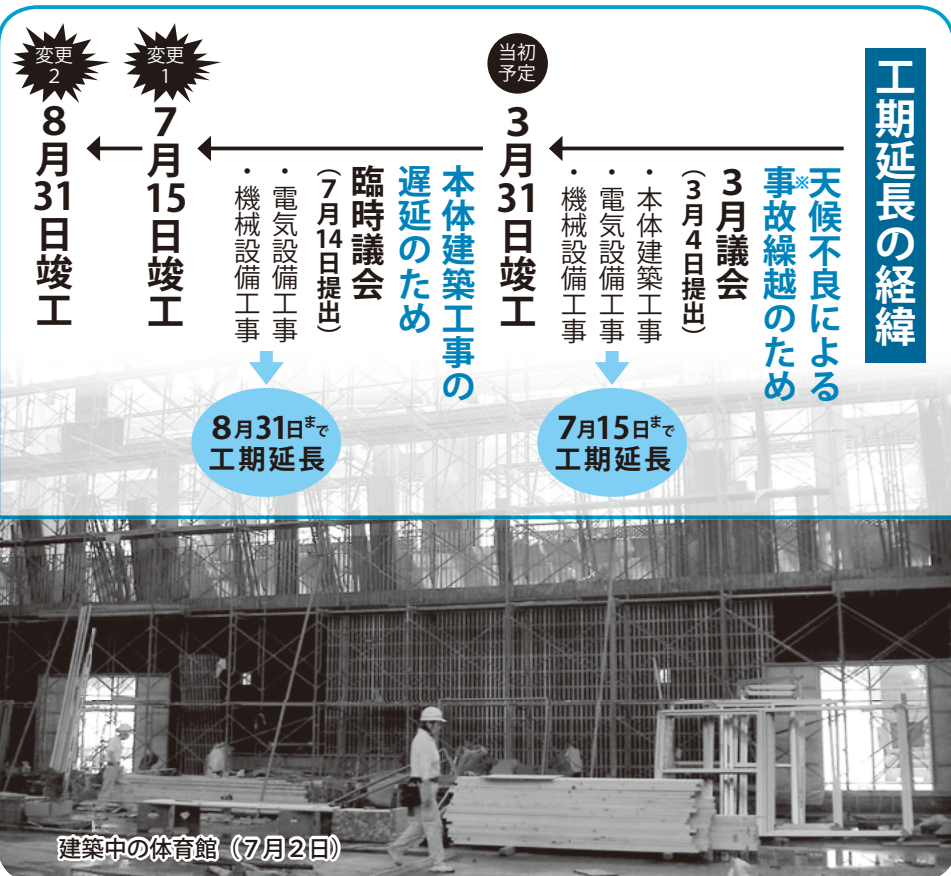


# 西中またも工期延長

## 改築工事



臨時議会で、電気設備及び機械設備工事の請負変更契約の締結について審議しました。再度の工期延長に対し、議会から怒りの声が上がりました。主な質疑を掲載します。

開催日  
7月14日

臨時議会

総質疑数  
32

責任の所在は

問 本体建築工事の請負契約を変更しない理由は、

答 約款の21条により、請負業者に責がある場合は、契約変更ではなく、工期延長に伴う責任を問うこととなります。

問 今回、電気・機械については、本体の建築工事の遅れが原因ということで、その責はなし。建築については、責ありということで区別をしています。

遅れた原因は

問 一度目の変更では、事故扱いによる工期延長だった。今回の遅れた理由は、

答 また、仮設校舎（プレハブ）の費用は、どこが負うのか。  
 遅れた理由は、コンクリートの型枠職人や配筋工が不足し、手配が難しかったためです。仮設校舎の費用は、本体建築工事請負業者に請求します。

ペナルティーを科すことは

問 違約金・指名停止など、建設業者に對して延滞のペナルティーを科すことは、

答 工事がすべて完了したのちに、町の約款に基づいて科していきます。

国庫補助の交付は

問 約束の期限を守れなくなった今、補助金は当初の予定どおり交付されるのか。

答 過去の事例により「交付されるだろう」ということです。遅延の理由と責任がどこにあったのかを明らかにし、公文書として残します。

町民への説明は

問 町としての説明責任と対応は、

答 生徒・保護者・地域の関係者には、教育委員会より説明していきま。また、具体的にどういう形になるかは未定ですが、町民の皆さんにもきちんと説明したいと考えます。



すたむちゃんのひとひめ

※事故繰越とは…避けがたい事故（今回はたび重なる台風）のため年度内に支出が終わらなかったことにより行なう繰り越し

特集 新町長にインタビュー



7月15日、就任早々で6月定例議会・臨時議会を終えた松本町長に、編集委員会から今後の抱負などを聞きました。

まず

何から始める？

久々に帰ってきた小川町議会の印象は。

町長 質問席が新たに設置され、一般質問の形式が一問一答方式へと変更された点に、議会改革を感じました。また、議員の活発な意見が印象的でした。

まず何から始めますか。

町長 西中建築問題ですね。今回の臨時議会での議員各位のご意見をしっかりと受けとめ、8月31日の完成に向けて、町の威信をかけて取り組みます。  
 次に町の体制・職員の意識改革。3番目として、東武東上線小川町駅の北側の開発を着実に進めていきたいと思っています。

家庭の中での町長の位置づけは。

町長 妻あつての今の立場でもありますが、意見は大切にしています。それと、家事も積極的に手伝い、“家庭から始める男女共同参画”を実践しています。

初議会では、積極的に手を挙げて答弁する場面が多くありました。今後もその姿勢で臨めますか。

町長 議員のときの気持ちがなかなか抜けずに、少々答弁が長くなってしまいました。今後は、町長としての自覚とともに、簡潔に、的を射た答弁を心がけていきたいですね。

議会に何を求めますか。

町長 身近な問題から町政全般、より深い所での議論を活発化させてもらいたいですね。積極的に私も発言しますから、とことん議論しましょう。

職員に何を求めますか。

町長 やる気の対応・接客意識の向上を望みます。課長会議を多く持ち、情報や問題の共有化をしっかりと図っていききたいと思います。同時に、個々の持つ潜在能力を引き出したい。たまには飲みニケーションで本音も聞いてみたいですね。